

2024年度（令和6年度）

# 事業計画書

社会福祉法人 手稲口一タス会

# 目 次

## 社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念.....	2
中期経営(前期)計画の取組内容.....	3

## 法人本部

手稲ロータス会 法人本部.....	6
-------------------	---

## 特養手稲

職員内部研修計画.....	8
介護老人福祉施設 手稲ロータス.....	10
各種会議・委員会.....	11
年間行事予定.....	11
年間行事予算.....	12
手稲ロータス指定居宅介護支援事業所.....	13

## 老健手稲

職員内部研修計画.....	16
介護老人保健施設 手稲あんじゅ.....	18
各種会議・委員会.....	21
年間行事予定.....	21
年間行事予算.....	22
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所.....	23
年間会議予定.....	25
年間行事予定・予算.....	25
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所.....	26

## 在宅手稲

職員内部研修計画.....	28
(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう.....	31
年間会議予定.....	32
年間行事予定・予算.....	32
手稲ゆうゆう(介護予防)通所介護事業所.....	33
年間会議予定.....	34
年間行事予定・予算.....	34
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所.....	35
手稲ゆうゆう(介護予防)訪問介護事業所	
・手稲ゆうゆう居宅介護事業所.....	36
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置.....	37
年間会議予定.....	38
介護予防普及啓発事業予定・予算.....	38

## 特養音更

職員内部研修計画.....	40
介護老人福祉施設 ロータス音更.....	42
各種会議・委員会.....	43
年間行事予定.....	43
年間行事予算.....	44
ロータス音更(介護予防)通所介護事業所(標準型・認知症型).....	45
年間会議予定(標準型).....	46
年間行事予定・予算(標準型).....	46
年間会議予定(認知症型).....	47
年間行事予定・予算(認知症型).....	47
音更町地域包括支援センター ロータス音更.....	48
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所.....	49

## 老健音更

職員内部研修計画.....	51
老人保健施設 あんじゅ音更.....	53
各種会議・委員会.....	54
年間行事予定.....	54
年間行事予算.....	55
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所.....	56
年間会議予定.....	57
年間行事予定・予算.....	57
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所.....	58

社会福祉法人 手稲口一夕又会

## 社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

### 基本方針

- ① ご利用者様の笑顔のために
  - ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
  - ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します
- ② ご家族様の笑顔のために
  - ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
  - ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します
- ③ 地域の皆様の笑顔のために
  - ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
  - ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
  - ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
  - ・環境にやさしい施設運営を目指します
- ④ 職員の笑顔のために
  - ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
  - ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

## 中期経営(前期)計画(2022～2024 年度)の取組内容

各事業所における重点推進課題は以下の(1)～(8)の取組内容に沿って作成しております。

### (1) 入居(利用)者様の笑顔をつくる環境づくり

- ・ 入居(利用)者様が「安全・安心」に生活できるよう環境を整えます。
- ・ 入居(利用)者様が持っている能力を十分に発揮して頂くとともに、持ち続けられるよう専門職が共同で支援します。
- ・ 入居(利用)者様の自己の選択や決定を尊重し、個人の尊厳を守れる支援を行います。
- ・ 入居(利用)者様の自立を維持できるよう支援を行います。
- ・ 入居(利用)者様に対しケアマネジメントプロセスと利用者中心を意識したケアプランを作成し内容の充実を図ります。

### (2) ご家族に安心・満足していただける環境づくり

- ・ 入居(利用)者様の日常生活の様子(通所利用時の様子)や体調等の情報をお伝えし、共有することでより良いサービスにつなげ、また、ご家族に安心していただきます。
- ・ 入居(利用)者様とご家族の生活時間を有意義なものとなるよう支援します。
- ・ ご家族のご意向(ニーズ)を把握し、ケアプラン等に反映、ケアマネジメントのプロセス(PDCA サイクル)を意識した支援を行います。
- ・ 施設や事業所等の運営についてご理解、ご支援いただくため、活動情報を伝えます。

### (3) 地域の皆様から信頼される環境づくり

- ・ 施設の地域交流スペースや会議室等を地域活動等に利用していただくなど、施設開放を促進します。
- ・ 地域の皆様との交流機会を積極的に企画します。
- ・ 地域の皆様を対象に、専門的知識を持つ専門職による介護予防、健康づくり等の知識や意識の普及啓発を行うなど、公益的な取組みを進めます。
- ・ 地域ボランティアの受入れを促進します。

### (4) 職員が働き続けられる職場づくり

- ・ 職員のスキルアップ(専門性向上)やキャリアパスの検討など職員研修の充実を図ります。
- ・ ICT 化やロボットの導入等を進めることで、業務の効率化を図ります。また、職員の健康管理(腰痛防止やストレス抑制)を促進します。
- ・ 仲間や上司から必要とされていると感じられ働き甲斐がある職場づくりを目指し、職員相互のコミュニケーションづくり(良好な人間関係を構築し、チーム力を向上)を促進します。
- ・ 職員の意見や発想を大切に、有意義なものは具現化していきます。
- ・ 適正な人事評価と給与体系を構築するために見直しなどを行っていきます。

### (5) 法人の財政基盤の健全化に向けて

- ・ 主体性のある事業運営を推進するため、現状把握に努め自施設の強みと弱みを知り、これから来る未来について情報を収集(常に勉強)し、課題を分析して具体的な対策を講じます。その結果、目標稼働率を達成させ、収入の増加を目指します。
- ・ 経費については、収益を生むための経費と収益を生まないランニングコストとしての経費に分けて考えます。収益を生むための経費については積極的に使いながら、収益を生まない経費であるランニングコストは抑制に努めます。

#### (6) 組織体制・運営の在り方検討に向けて

- ・ 組織体制について、本部事務局と事業所の業務分担の見直しも含めた検討を行います。
- ・ 各施設の運営に関して、権限と責任の明確化や責任ある事業運営に当たれる体制づくりのほか、年功序列を意識せず能力に応じた適材適所の異動・登用を進めます。
- ・ 法人・事業所の基本情報を発信するホームページの積極的な運用、及び日常の情報発信するための SNS 等各種ソーシャルメディアの活用方法について検討し取り組みます。
- ・ 感染症・自然災害 BCP(業務継続計画)を策定し、職員への周知を徹底するとともに、地域との連携・協働を進めます。

#### (7) 職員の確保・育成に向けて

- ・ 介護人材の確保に向けて、一人ひとりの職員を尊重し、仕事の達成感を感じられる職場づくりを行います。
- ・ 職員の職場定着(離職防止)を目指し、仲間や上司から必要とされていると感じられ、かつ目標の達成を実感できる職場づくりを行っていきます。
- ・ 職員の定年制度の延長及び役職の定年制導入の検討を行います。
- ・ 1年間に複数回の接遇・マナーの研修を実施します。
- ・ 職員との面談や個別指導等を実施します。
- ・ 職員のスキルアップのため積極的に内部・外部の研修会に参加させます。
- ・ 幹部職員及び幹部候補者の計画的な教育・育成に努めます。
- ・ 介護従事者の雇用環境が厳しくなっていることから、職員数の安定に資する為にも外国人労働者の受け入れに関する他の法人の実情や課題を調査・検討を行います。

#### (8) 新規事業

- ・ 札幌旧特養施設建物取り壊し  
2024年度までの資金収支見通し及び課税動向に基づき実施時期を判断します。
- ・ 音更在宅部門施設建設  
地域包括支援センターの移転を含めた事業部門などの検討を進め、2024年度までの資金収支見通し及び地域ニーズ等事業環境に基づき実施時期を判断します。
- ・ ICTの活用  
新規システムの導入や既存システムの更新・改修の際には、既存の各事業所の多様なシステムとの統合、連動・整合性の確保を第一に企画実施することとし、事業所ごとではなく法人全体で方向性を定めて取り組みを進めます。

手稲口一タス会 法人本部



## 手稲ロータス会 法人本部

法人経営をより安定的なものにするため、拠点間の連携及び協力体制の強化に努める。

### 《重点推進課題》

#### 1. 職員の確保に向けて 《中期経営計画（7）》

介護従事者の雇用環境が厳しさを増す中、外国人労働者の雇用を目指して受入体制を構築し、安定した事業運営を実施する。

##### 【指標・評価方法】

札幌圏内や十勝管内において、すでに外国人労働者を受け入れている事業者の実態を調査の上、当法人に合った仕組みや費用対効果を検証し、年度内の雇用開始を目標とする。また、学校新卒の就職希望者向けに、ホームページの職員募集コーナーの充実に努める。

#### 2. 職員育成のための研修体系の見直し 《中期経営計画（4）（7）》

現在、事業所ごとに計画・実施している職員研修を、経験年数・職種・職位に求められる研修及び法定必須研修などに体系化し、効果的な研修が受講・習得できる体制をつくる。

##### 【指標・評価方法】

法定研修の他、経験年数・職種・職位等を考慮した効果的な研修を行う。

#### 3. 中期経営（後期）計画への策定

中期経営計画の計画期間は2022年度から2027年度の6年間であり、前期分は2024年度で終了することから、今年度は前期計画の進行管理と評価を行うと共に、後期計画を策定し公表していく。今後も継続的に安定した法人運営を目指して取り組むべき方向性（目標）を示す。

##### 【指標・評価方法】

中期経営（前期）計画に対する取組内容の評価と、会計事務所等による専門家の視点を加えた分析を行い、より効果的・効率的な中期経営（後期）計画を提案する。

特 養 手 稻

# 職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6月	食中毒の予防に関する研修	管理栄養士
7月	看取り介護に関する研修	施設内外の講師
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
9月	BCPに基づく感染症の予防及び蔓延防止に関する研修	感染症予防委員会
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
11月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
12月	BCPに基づく地震などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
3月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
その他	新人職員研修	施設内外の講師
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	個別ケア、ユニットケアに関する研修	施設内外の講師
	移乗動作、食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	レクリエーションに関する研修	施設内外の講師
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師
	BCPに基づく避難訓練 火災：年2回（日中・夜間） 自然災害：1回	札幌市防災協会等

(手稲ロータス居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	施設内外の講師
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	施設内外の講師
6月	認知症ケアに関する研修①	施設内外の講師
7月	プライバシー保護のための研修	施設内外の講師
8月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	施設内外の講師
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	施設内外の講師
10月	事故発生又は再発防止に関する研修②	施設内外の講師
11月	倫理及び法令遵守のための研修①	施設内外の講師
12月	認知症ケアに関する研修②	施設内外の講師
1月	業務継続計画（BCP）に基づく研修	施設内外の講師
2月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	施設内外の講師
3月	倫理及び法令遵守のための研修②	施設内外の講師
その他	新人職員研修	施設長、部門長ほか各専門職
	事例検討会（8月、1月）	法人内及び他法人との居宅介護支援事業所と共同開催
	介護保険制度の改正に関する研修	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	接遇に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	業務継続計画（BCP）に基づく訓練	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	非常災害の対策訓練	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	地域における社会資源の活用に関する研修	施設内外の講師

介 護 老 人 福 祉 施 設    手 稻 口 一 夕 ス

手 稻 口 一 夕 ス    指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所

## 介護老人福祉施設 手稲ロータス

ご家族や地域の皆様が集まるイベント・外出レクや外泊・面会等が当たり前に来ていた「日常」。新型コロナウイルス感染症により、ご家族との触れ合いや、地域の皆様との関わりが「非日常」となり、4年が経過した。入居されている方々の暮らしが、「当たり前の日常」を取り戻し、楽しく、喜びを感じることができるよう、職員一人ひとりが入居者様に、寄り添い、想いや願いを実現できるケアを構築する。

また、職員間のチームワーク力を向上し、働きやすい環境づくりに取り組むことで、入居者様により良いサービスを提供する。

### 《重点推進課題》

#### 1. 楽しく喜びを感じながら暮らせるように、全職員で入居者の皆様が笑顔になれる生活環境をつくる 《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)(7)》

制限のない行事や外出レク、ご家族・地域の皆様が集まって行うイベントが開催できるよう、感染対応策を確立し、入居者様が楽しく安全に暮らせる生活環境をつくる。

#### 【指標・評価方法】

- ① 新型コロナウイルス感染症やノロウイルス感染症、インフルエンザ等、標準予防策の徹底、感染症発生時に、適切な対応策が実践できるよう、感染予防委員会を中心に、施設内研修の実施及び感染予防マニュアルの見直しをする。
- ② 直接面会の実施方法について、人数及び時間制限の見直しを図る。
- ③ 入居者様、ご家族が楽しめる行事を企画・立案・実施する。
- ④ 地域の皆様が、地域交流スペースの利用再開できるよう、安全策を構築する。

#### 2. 職員間のチームワーク力を向上し、質の高いケアを提供する

#### 《中期経営計画 (1)(2)(4)(7)》

多職種の専門職員によるチームワーク(連携・協調性・共同性)が円滑に図られることで、入居者様へ質の高いケアを提供する。

#### 【指標・評価方法】

- ① 態度・姿勢・表情・顔色・声のトーン・話す速度・ジェスチャー・視線(言語・非言語)を意識し、コミュニケーションを図る。
- ② チームワークスキル(心理的安全性)、接遇マナーやコミュニケーションスキルに関する研修の実施。

## 各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 16:15～
	副主任等会議	毎月第1水曜日 16:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:15～
	フロア会議	月1回
	入居検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:45～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3火曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第3水曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	口腔衛生向上委員会	毎月第1水曜日 16:15～
	生産性向上委員会(仮)	毎月第1水曜日 16:30～
	衛生委員会	毎月第4水曜日 16:15～
	給食委員会	定期的に開催

## 年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	12(日)	母の日のお祝い	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
6月	1(土)	開設記念行事	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。
	16(日)	父の日のお祝い	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
7月	26(金)	手稲ロータス夏まつり	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	13(金)	敬老祝賀会	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	20(金)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。
2月	2(日)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。
通年	3(月)	桃の節句	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。
	—	誕生会	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施する。
	—	個別活動	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
—	—	地域活動	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。
【備考】			

# 年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日のお祝い	12日 (日)	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 60人		52,800	52,800
6月	開設記念行事  父の日のお祝い	1日 (土)  16日 (日)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。  男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 3,300 × 8 ユニット 運営費 2,750 × 8 ユニット  プレゼント代 880 × 20人	35,200 17,600 26,400  22,000 17,600		118,800
7月	手稲ロータス夏まつり	26日 (金)	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,100 × 200人 装飾品代 2,750 × 8 ユニット 運営費 330 × 200人	220,000	22,000 66,000	308,000
9月	敬老祝賀会	13日 (金)	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 2人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 0人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 0人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 7人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 2人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 2人 表彰状の用紙代 2,000 × 1袋 表彰状の額縁 330 × 13人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 6,600 0 0 23,100 6,600 6,600 2,000 4,290 22,000		123,990
12月	クリスマス・忘年会	20日 (金)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。	入居者食事代 440 × 80人 ケーキ代など 220 × 80人 飲み物代 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 550 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000 44,000 22,000		140,800
2月	節分行事	2日 (日)	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600 22,000		39,600
3月	桃の節句	3日 (月)	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。	入居者食事代 220 × 80人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600 22,000		39,600
通年	誕生会	随時	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせて個別に実施する。	プレゼント代 880 × 100人		88,000	587,200
	個別活動	随時	入居者のニーズに合わせて、外食行事などを楽しむ。	職員食事代 840 × 70人 運営費 1,000 × 80人	58,800	80,000	
	正月の装飾	随時	正月の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	
	レクリエーション活動	随時	各ユニットにてレクリエーションを企画し、随時、実施する。	年間活動費 26,400 × 8 ユニット (1ユニット月に2,200円)		211,200	
	委員会活動費	随時	各委員会にて書籍やWEB等により、必要な情報を収集し、取組む。	書籍代 6,000 × 6 委員会 (各委員会年に6,000円)		36,000	
	施設内研修活動	随時	広報・研修委員にて外部講師による研修を企画し、実施する。	運営費 20,000 × 5回		100,000	
合 計					520,800	889,990	1,410,790

## 手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

利用者様とご家族が、共に在宅生活を継続することができ、その人らしく過ごしていただけるよう支援する。

また、利用者様の同意のもとに、心身の状況に応じ適切なサービスを利用することができるよう、地域包括支援センターや各サービス事業者との連絡調整等を行い、利用者様だけでなくそのご家族も含めての「自立」を目指す。

### 《重点推進課題》

#### 1. 質の高いケアマネジメントの実施 《中期経営計画 (1)(2)》

介護保険制度改正に伴い、新たな知識を習得し、ケアマネジメントの理解を深める。

また、研修及び居宅会議等を通し、意見交換や情報共有することで、利用者様及びご家族の多様化するニーズに対応できる、専門職としてのスキルアップに努める。

#### 【指標・評価方法】

- ① ジョブメドレーでのオンライン研修や、介護支援専門員連絡協議会や地域包括支援センター主催の研修会、他機関主催の研修会への参加。
- ② 事例検討会の参加、事例検討会の開催。
- ③ 特定事業所として法令に基づき、定期的に利用者様の情報共有、カンファレンス等を事業所全体でケースのケアへの取り組みや振り返りについて会議を開催。

#### 2. 地域社会との関係性の強化を図る 《中期経営計画 (1)(3)》

地域住民が抱える、在宅介護に関する「不安」や「悩み」等の課題を抽出し、解決に向け、関係機関との連携を図る。

#### 【指標・評価方法】

- ① 地域の高齢者についての相談や、介護支援専門員連絡協議会役員の参加や、区の情報交換会などでネットワーク作りを行う。
- ② 利用者様の入退院や受診等の機会を通し、日頃から地域の医療機関と情報交換を実施していく。



- ③ 居宅介護支援事業所を知っていただくために、近隣の町内会住民を対象とした電話相談会、対面での相談会を開催する。

### 3. 運営基盤の安定化 《中期経営計画 (3)(4)(6)(7)》

各関係機関及び地域からの多様なニーズに、「ワンストップ」の相談窓口として、対応することができるよう、介護相談の拠点をつくり、運営基盤の安定化を図る。

#### 【指標・評価方法】

- ① 全員が主任介護支援専門員である強みを活かし、困難事例や急な動きを要する場合などのケースも担当していく。
- ② 地域包括支援センターや医療機関からの相談を受けることのできる体制を整えていく。
- ③ 介護報酬における適切な加算算定を行っていく。

老 健 手 稻

# 職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6月	食中毒の予防に関する研修	副主任管理栄養士
7月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
8月	口腔衛生管理等に関する研修	歯科医師または歯科衛生士
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
10月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
11月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
12月	地震、土砂災害などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
2月	口腔衛生管理等に関する研修	歯科医師または歯科衛生士
3月	認知症ケアに関する研修	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
その他	新規採用職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
	ハラスメント対策に関する研修	施設内外の講師
	避難訓練（火災：年2回～日中想定、夜間想定（2024.11.12（水）10：30実施予定）	札幌市防災協会等
	避難訓練（地震・土砂災害年1回）	札幌市防災協会等

介 護 老 人 保 健 施 設      手 稻 あ ん じ ゆ

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

## 介護老人保健施設 手稲あんじゅ

入所(利用)者様が、安心して健康的な日常生活を送り、ご自身で行える生活動作の維持、拡大に取り組むことができるよう、各専門職がプロとしての意識を強く持ちながら協働し、根拠に基づいたチームケアを持続的に提供することができる体制を強化する。

また、新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症からの感染予防対策を見直し、入所(利用)者様のコミュニティを拡大することで、生活環境の充実と満足度の向上を促進する。

さらに、入所(利用)者様の生活をご家族と共に支えることができるよう、ご家族に入所(利用)者様の状況をより一層理解していただくことで、ご家族が抱く在宅介護への不安を軽減するための情報共有を強化する。

### 《重点推進課題》

#### 1 プロの専門職として、根拠に基づいたチームケアを提供する

##### 《中期経営計画(1)(2)(4)(7)》

職員一人ひとりが、入所(利用)者様が抱える生活上の希望や課題等に向き合い、寄り添い、そして共に笑顔になるため、ホスピタリティ精神を深めるとともに、プロの介護施設職員によるケアサービスが提供されることを強く意識し、さまざまな専門職から構成されるチーム力が発揮されるよう、根拠に基づくケアサービスの質と量が持続的、かつ安定的に提供することができる支援体制の強化に努める。

#### 【指標・評価方法】

入所(利用)者様の生活全般を支えていく中で、重要な役割を担う介護職員のサービス提供体制とその内容を職員視点の業務にとらわれず、入所(利用)者様の生活リズムや希望等に合わせた、柔軟な対応が可能となるケアサービスの提供体制に組み直していく。具体的には、プロの介護職員が行うべきサービスとそれ以外のサービスの混在をできるだけ解消し、プロの介護職員が行うケアの質と量を増やし、その結果、入所(利用)者様が笑顔になる時間が増えるよう、業務の整理を行っていく。

また、入所(利用)者様が健康的な生活を維持することができるよう、口腔衛生や摂食・嚥下機能の評価に基づく経口維持への取組みを進めていくほか、褥瘡や感染症にかかる予防的ケアの推進を加速させるため、前年度(2023年度)に策定した各種マニュアルを着実に実行するとともに、委員会活動の活性化を進めていく。さらに、褥瘡や感染症等の外部専門家による研修や、万一、発生した場合に備えて「シミュレーション」を定期的に行うほか、転倒等の事故に対する予防的ケアを推進していくため、発生事故の分析方法の見直しや、有効的な再発防止対策を実行していくための各専門職の役割を明確にしていく取組みを進めていくことにより、入所(利用)者様の生活環境の向上と、職員がスキルアップ

プできる機会をつくる。

加えて、職員一人ひとりが、ケアチームの一員であることを強く意識し、頼りきり体制ではなく、互助的体制のチームになるよう、入所(利用)者様に向けられるホスピタリティにとどまらず、職員同士の関係においてもホスピタリティが形成されるチームづくりのため、グループワーク等による協力型研修の実施を進めていく。

## 2 入所(利用)者様のコミュニティ拡大による生活環境の充実を推進する

### 《中期経営計画(1)(2)(3)》

入所(利用)様の健康的な生活を守るために行われる感染予防対策の実施は重要であるが、一方で、入所(利用)者様のコミュニティが縮減し、閉塞感からの不安が生じやすい環境にあることから、段階的に緩和している新型コロナウイルス感染症等からの感染症予防対策の見直しを進めていく。また、限定されるコミュニティの枠を超えて、ボランティア活動等の社会資源の活用や外出の確保等、幅広いコミュニティと地域社会に接する機会を増やし、入所(利用)者様の心が豊かになる生活の実現に向けた取組みを進めていく。

#### 【指標・評価方法】

実施中の入所(利用)者様とご家族の直接面会の頻度や場所等に関する条件緩和の検討と実施のほか、四季を感じる機会を持つことができるよう、外出行事を再開する。

また、入所(利用)者様が意欲的にリハビリテーションを行うことができるよう、入所(退所)前の自宅環境等の評価に基づき、自宅における環境と介護量等に即した運動機能と認知機能に対するリハビリテーション、在宅復帰後の社会活動への参加を視野に入れた屋外環境におけるリハビリテーションの実施を促進する。

さらに、入所(利用)者様同士の会話が弾み、笑顔になる機会をつくるため、ケアプラン作成時におけるアセスメントに「興味・関心チェックシート」の内容を加え、入所(利用)者様が持つ共通の趣味や技能に関する活動幅が拡充できる環境を整えていく。

## 3 ご家族とともに入所(利用)者様の生活を支援する

### 《中期経営計画(2)(3)》

ご家族が入所(利用)者様の生活のご様子や変化等の情報を身近に感じることができるよう、施設とご家族を結ぶネットワーク環境を拡充させていく。また、入所(利用)者様とご家族の共生関係の絆が実感できる環境を整えていくとともに、介護保険施設の入所サービスを利用するご家族が抱きやすい不安や葛藤が、できるだけ緩和されるよう、ご家族の笑顔につなげていく。

#### 【指標・評価方法】

コロナ禍における施設とご家族を結ぶネットワーク環境を整えるために開設したコミュニケーションツール(LINE(ライン)やメール)を使い、個人情報の使用に配慮しながら、入所(利用)者様の日常生活やそのご様子に関する動画の個別配信を行う等、ネットワーク環境の活用範囲を拡げていく。

また、ご家族に毎月発行・送付している「お便り(あんじゅ通信)」を継続していくとともに、

停止中の3か月に1回定期発行していた広報誌を再開させ、行事のご様子や施設からの案内等を発信するほか、地域の関係機関等へ積極的に情報発信していく礎を築いていく。

## 各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	毎月第1木曜日 17時00分から
	グループ会議	各グループ月1回 17時00分から
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第4木曜日 16時30分から
	感染症予防委員会	毎月第2木曜日 16時30分から
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3木曜日 16時30分から
	褥瘡予防対策委員会	毎月第1木曜日 16時30分から
	広報・研修委員会	毎月第3水曜日 16時30分から
	口腔衛生向上委員会	6か月に1回(9月・3月)第1木曜日 17時00分から
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11時00分

## 年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	開花時期	お花見ドライブ	近隣の桜の名所をドライブし、季節を感じて頂く
5月	開花時期 15日	お花見ドライブ(3階)	近隣の桜の名所をドライブし、季節を感じて頂く
		お茶会(2階)	新茶を和菓子と一緒に楽しむことで季節を感じて頂く
6月	1日	開設27周年記念式典	豪華な食事で開設記念日を祝い記念撮影を行う
	26日・28日	テラスde日光浴	テラスに出て日光浴を行うとともに、小さい鉢植えを作って楽しむ
7月	17日	テラスdeカフェ(2階)	テラスでジュース、コーヒー等の飲み物を楽しんで頂く
	19日	テラスdeおやつ(3階)	テラスでアイス、ジュースなどを楽しんで頂く
8月	中旬頃	夏祭り	屋台、出店等の夏祭りの雰囲気を感じられる催しを楽しんで頂く
9月	16日	敬老祝賀会	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う
	下旬頃	ソフトクリームの日	キッチンカーを招いてソフトクリームを食べて頂く
10月	紅葉時期	紅葉ドライブ	近隣の紅葉狩りの名所をドライブし、季節を感じて頂く
11月	20日・22日	おやつレク	季節のおやつを楽しんで頂く
12月	27日	忘年会	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会をする
	下旬頃	年越し準備週間	整容や装飾作りなどをして新年を迎える準備をする
1月	1日～7日	お正月遊びの日	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ
	10日	新年会	1年の始まりを「祝い御膳」でお祝いする
2月	3日	節分の豆まき	豆まきなど節分の風習を行う
3月	21日	おやつレク(3階)	季節のおやつを楽しんで頂く

### 【備考】

※ 「誕生会」毎月、第3日曜日に実施。昼食前に該当月の誕生者を紹介する。誕生者の方には、午後のおやつ  
の時間にお菓子を誕生者に召し上がって頂く。また、写真を撮影し、ご入所様ご本人に手渡す。

※ 「喫茶」(各階)毎週日曜日14時00分

※ 「変わり湯の日」毎月1週間、入浴剤により普段と違う入浴環境で季節を感じていただく。

※ 「避難訓練」年2回

※ 「個別外出」「地域交流事業」は感染症予防対策の状況に合わせて実施を 検討していく。

※ 年間行事予定については、感染症予防対策のため必要に応じて変更しながら実施していく。



# 年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	お花見ドライブ	開花時期	近隣の桜の名所をドライブし、季節を感じて頂く	実費			
5月	お花見ドライブ(3階) お茶会(2階)	開花時期 15日	近隣の桜の名所をドライブし、季節を感じて頂く	実費 運営費 5,500 × 1フロア 食材費等 440 × 44人	19,360	5,500	24,860
6月	開設記念式典 テラスde日光浴	1日 26日・28日	豪華な食事で開設記念日を祝い記念撮影を行う テラスに出て日光浴を行うとともに、小さい鉢植えを作って楽しむ	入所者飲食代 440 × 90人 運営費 8,800 × 2回	39,600	17,600	57,200
7月	テラスdeカフェ(2階) テラスdeおやつ(3階)	17日 19日	テラスでジュース、コーヒー等の飲み物を楽しんで頂く	食材費等 440 × 90人 運営費 5,500 × 2フロア	39,600	11,000	50,600
8月	夏祭り	中旬頃	屋台、出店等の夏祭りの雰囲気を感じられる催しを楽しんで頂く	運営費 33,000 × 2フロア 食材費等 440 × 90人	39,600	66,000	105,600
9月	敬老祝賀会  ソフトクリームの日	16日 下旬頃	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う  キッチンカーを招いてソフトクリームを食べて頂く	食事代 440 × 90人 おやつ代 660 × 90人 飲物代他 5,500 × 1回 記念品代(男女最高齢) 11,000 × 2人 運営費 16,500 × 1回 食材費等 400 × 90人	39,600 59,400 5,500	22,000 16,500 36,000	179,000
10月	紅葉ドライブ	紅葉時期	近隣の紅葉狩りの名所をドライブし、季節を感じて頂く	実費			
11月	おやつレク	20日・22日	季節のおやつを楽しんで頂く	食材費等 440 × 90人 運営費 5,500 × 2フロア	39,600	11,000	50,600
12月	忘年会  年越し準備週間	27日 下旬頃	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会をする  整容や装飾作りなど新年を迎える準備をする	入所者食事代 440 × 90人 飲物代他 11,000 × 1回 運営費 8,800 × 1回 運営費 16,500 × 2フロア	39,600 11,000 8,800	33,000	92,400
1月	お正月遊びの日 新年会	各階1回 10日	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ 1年の始まりを「祝い御膳」でお祝いする	運営費 8,800 × 2回 入所者食事代 440 × 90人 おやつ代 220 × 90人 飲物代他 5,500 × 1回	39,600 19,800 5,500		82,500
2月	節分の豆まき	3日	豆まきなど節分の風習を行う	運営費 8,800 × 2フロア		17,600	17,600
3月	おやつレク(3階)	21日	季節のおやつを楽しんで頂く	食材費等 440 × 46人 運営費 5,500 × 1フロア	20,240	5,500	25,740
その他	誕生会 変わり湯の日 買い物代行 個別外出  外出デイ レクリエーション費	随時 月1回 月2回 随時  年16回 随時	ご入所者様に誕生日プレゼントを贈る 入浴剤による変わり湯を用意する ネットショッピングによる買い物 急なニーズに対応  季節折々の観光地や公共施設等へ外出グループごとに行うレクリエーション等	プレゼント代他 880 × 90人 入浴剤 10,500 × 12回 職員飲食代 840 × 30人 運営費 15,000 × 1回 職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100人 運営費 55,000 × 2フロア	25,200 124,000	79,200 126,000 15,000 110,000	479,400
合 計					576,000	589,500	1,165,500

## 手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

利用者様が「住み慣れた地域で過ごすことができる」ために、必要な生活動作の維持または獲得につながるよう、生活動作に密着したリハビリテーションや活動の機会を、多職種が協働して提供することができる体制を構築する。

また、利用者様の生活課題について、在宅介護を担うご家族と共に考え、共に課題の解決に向けて取り組むことができるよう、ご家族との接点を積極的に持ち、ご家族の不安を軽減できるよう支援することで、利用者様及びご家族から求められる事業所を目指す。

### 《重点推進課題》

#### 1 利用者様の得意なことを見つけ、その動作の維持・獲得に向けた、リハビリ専門職を始めとした多職種からのアプローチ 《中期経営計画(1)》

利用者様が日常生活の中で「あんなことができるようになりたい」、「これからも続けていきたい」と願うことを日々の関わりやサービス担当者会議等を通じて「興味・関心チェックシート」を使って確認する。

また、その実現に必要な生活動作の維持と獲得に向けて、各専門職がプロの専門職によるチームとしての自覚を持ちながら協働して、利用者様へ個別かつ具体的なケアサービスの提供に努める。

#### 【指標・評価方法】

利用者様が願う「できるようになりたいこと」「これからも続けていきたいこと」を把握して、それらの実現に必要な生活の動作と環境を毎月のカンファレンスで協議する。特に、利用者様の生活動作においては、日常的に取り組むことができる点に着眼したリハビリテーションの内容を提供する。

加えて、利用者様の趣味趣向に基づき、利用者様が主体的に参加することができる余暇活動を提供する。

さらに、摂食・嚥下機能や栄養状態の課題を持つ利用者様には、言語聴覚士による摂食・嚥下機能の評価に基づき、機能維持・改善に向けたリハビリテーションを提供するとともに、管理栄養士と連携して、ご自宅でも安全に食事を摂取できるよう、栄養指導等を行う。

## 2 ご家族が抱える悩みや在宅生活継続の課題を把握と課題解決への取組み

### 《中期経営計画(2)》

利用者様とご家族の生活が一層豊かになることができるよう、介護方法や環境等に関する課題を持続的に把握し、ご家族と一緒に課題の解決に向けた取組みを進めていく。

#### 【指標・評価方法】

サービス担当者会議や送迎サービスでの機会、アンケート調査を通じて、ご家庭ごとで抱える介護に関する課題を把握するとともに、把握した課題の解決に向けて、専門職が協働して解決策を考案し、介護支援専門員と情報共有を図りながら、迅速に助言を行う。

また、ご家族を当事業所に招く機会を設け、利用者様の当事業所での過ごし方を理解していただくとともに、ご家族が抱える在宅介護での悩みを直接に受け止め、共に解決策を見出す取組みを進める。

## 各種会議・委員会

月	会議予定	開催日
会議	デイケア会議	毎月第1水曜日 17時00分から
	ケースカンファレンス	随時
	主任会議	毎月第1木曜日 17時00分から
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第1水曜日 17時00分から
	感染症予防委員会	毎月第2木曜日 16時30分から
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3木曜日 16時30分から
	褥瘡予防対策委員会	毎月第1木曜日 16時30分から
	広報・研修委員会	毎月第3水曜日 16時30分から

## 年間行事予定(予算)

(単位：円)

月	行事名	予算内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
5月	お花見ドライブ	実費			
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
6月	開設記念祝賀会	利用者食事代(当日) 440 × 25人	11,000		
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	15,500
7月	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
8月	夏祭り週間	運営費 5,000 × 6回		30,000	
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	34,500
9月	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 440 × 25人	11,000		
	敬老祝週間	記念品代(賀寿) 3,300 × 8人		26,400	
		運営費 5,000 × 6回		30,000	
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	71,900
10月	レクリエーション大会	運営費 5,000 × 6回		30,000	
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	34,500
12月	クリスマス週間	おやつ代 220 × 150人	33,000		
	忘年会	利用者食事代(当日) 440 × 25人	11,000		
	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	48,500
1月	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
2月	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
3月	変わり湯の日	運営費 4,500 × 1回		4,500	4,500
通年	レクリエーション制作教材費	20,000 × 12か月		240,000	
	ボランティア謝礼	5,000 × 12回		60,000	
	誕生祝い(プレゼント代)	220 × 85人		18,700	318,700
		合 計	66,000	484,600	550,600

## 手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者様が、住み慣れた地域で希望する在宅生活を継続するために、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれに専門性を発揮し、チームとして利用者様を支援できる体制を構築する。

### 《重点推進課題》

#### 1 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門性が発揮される、多面的リハビリテーションの実施

##### 《中期経営計画(1)》

利用者様の在宅生活における「困りごと」や「できるようになりたいこと」など、具体的な場面ごとにおける課題の解決に向けて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が持つ特有の能力が発揮されたアセスメントを実施するとともに、各専門職間で情報を共有し、多面的リハビリテーションが提供できる体制を構築する。

また、利用者様の日常生活における役割の創出から在宅生活での潤いを感じられるよう、活動のバリエーションにアプローチするリハビリテーションを提供する。

#### 【指標・評価方法】

毎月行われる部署内のリハビリテーション会議で、個別のケースが持つ課題を共有し、各専門職の意見を交わすとともに、ICF(国際生活機能分類)モデルに基づく課題の整理により、「活動」や「参加」の可能性を評価する。

また、歩行能力を始めとした運動器リハビリテーションのみならず、摂食嚥下機能やコミュニケーション機能に関するリハビリテーションのほか、認知症を患っている利用者様が意欲的に参加できるリハビリテーションを提供する。

在 宅 手 稻

## 職員内部研修計画

### (手稲ゆうゆう入居)

実施月	研修内容	講師等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（2023年度集計より）	事故対策委員
5月	倫理・法令遵守について	研修委員
6月	認知症の理解について	計画作成担当
7月	身体拘束・虐待防止について①	身体拘束廃止委員会
8月	感染症予防対策（食中毒の予防）について	研修委員
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	感染症予防対策委員会
10月	身体拘束・虐待防止について②	身体拘束廃止委員会
11月	感染症について（訓練含む）	研修委員
12月	接遇について	管理者
1月	アンガーマネジメントについて	管理者
2月	個人情報・プライバシーの保護について	研修委員
3月	介護職のための医療知識及び緊急時対応について	管理者
その他	新規採用職員研修	各事業の主任など

### (手稲ゆうゆう通所)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇について	生活相談員
5月	事故防止について①	介護職員
6月	感染症・食中毒の予防について①	看護職員
7月	プライバシーの保護について	生活相談員
8月	緊急時の対応方法について	生活相談員・看護職員
9月	身体拘束廃止について	生活相談員
10月	感染症対応に係る訓練	管理者
11月	非常災害時の対応について	生活相談員
12月	認知症について	介護職員
1月	高齢者虐待防止について	生活相談員
2月	事故防止について②	介護職
3月	職業倫理及び法令順守について	管理者
随時	新規採用職員研修	主任・副主任

### (手稲ゆうゆう居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇マナーについて	介護支援専門員
5月	法令遵守について	介護支援専門員
6月	高齢者虐待防止について	介護支援専門員
7月	苦情対応について	介護支援専門員
8月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
9月	非常災害時の事業継続について（BCP）	介護支援専門員
10月	他職種・他機関との連携について	介護支援専門員
11月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
12月	高齢者虐待防止について	介護支援専門員
1月	メンタルヘルスについて	介護支援専門員
2月	個人情報保護について	介護支援専門員
3月	ターミナルケアについて	介護支援専門員
その他	外部研修（家族支援（ヤングケアラー等）ケアマネ連協、包括支援センター他）	外部講師

(手稻ゆうゆう訪介)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇マナーについて	サービス提供責任者等
5月	法令遵守について	研修委員
6月	緊急時対応について	サービス提供責任者等
7月	身体拘束・虐待防止について	サービス提供責任者等
8月	感染症について	研修委員
9月	非常災害時の業務継続計画について	サービス提供責任者等
10月	認知症ケアについて	サービス提供責任者等
11月	感染症について（訓練含む）	研修委員
12月	プライバシー保護の取り組み	サービス提供責任者等
1月	ハラスメント防止・対策	サービス提供責任者等
2月	苦情対応について	研修委員
3月	事故対応と再発防止について	サービス提供責任者等



認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう  
手稲ゆうゆう通所介護事業所  
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所  
手稲ゆうゆう訪問介護事業所  
手稲ゆうゆう居宅介護事業所  
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

## 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者様が手稲ゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と日々の生活を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

### 《重点推進課題》

#### 1. 健康保持及び重度化予防 《中期経営計画（1）》

入居者様が健康に暮らせるよう、運動及び食事摂取、睡眠状況等の観察を継続し、健康保持を図る。

また、心に寄り添ったケアを実施する中で、認知症になっても幸福感が得られる環境や関係作りに努める。

#### 【指標・評価方法】

- ① ご家族・協力医療機関の訪問診療医と情報を共有し、連携体制を構築する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 予防対策を継続しながら、状況に合わせたBCPの作成及び見直しを図る。
- ④ 日々の体操や入居者様一人ひとりに合わせた運動を行って、体力を維持する。
- ⑤ コロナ禍で中止していたユニット毎での外出行事を再開する。

# 年間会議予定

月	会議 予 定 ( 開 催 日 )	対 象 職 員
通年	ユニット会議・・・毎月開催	全職員
	職員会議・・・毎月第4水曜日15:00開催	全職員
	運営推進会議・・・2ヵ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

# 年間行事予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	花見外出	ドライブ、桜見物を行う				
5月	端午の節句 母の日	女性入居者お祝い	柏餅代 400 × 18 人 カーネーション代 ケーキ代 550 × 17 人 予備費	7,200	5,000 9,350	
	個別外出・ショッピング	入居者の要望に沿った外出を行う		2,000		23,550
6月	開設記念日(1日)	祝賀会	装飾費 予備費		5,000 5,000	
	父の日	男性入居者お祝い	ケーキ代 550 × 1 人 予備費	9,000	550	
	外出レク	前田森林公園へ藤見物				19,550
7月	個別外出・ショッピング	入居者の要望に沿った外出を行う				
	ケーキバイキング	お好みのケーキを選んで食べる	ケーキ代 1,000 × 18 人		18,000	18,000
8月	夏祭り	夏祭り	運営費		50,000	
	七夕	七夕の飾りを行う	装飾費		2,000	52,000
9月	敬老祝賀会	祝賀会	装飾費 記念品代 700 × 18 人 祝品代 3,000 × 18 人 予備費	12,600 54,000	10,000 10,000	86,600
10月	外出レク	白い恋人パークへ外出する	予備費		5,000	5,000
11月	個別外出・ショッピング	入居者の要望に沿った外出を行う				
12月	クリスマス会・忘年会	クリスマス・忘年会	装飾費 プレゼント代 1,100 × 18 人 ケーキ代 550 × 18 人 予備費	9,900	10,000 19,800 10,000	49,700
1月	お正月 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	装飾費 ゲーム材料代 和菓子代 400 × 18 人	7,200	20,000 3,000	30,200
2月	節分		豆代	2,000		2,000
3月	桃の節句		装飾費 桜餅代 400 × 18 人	7,200	2,000	9,200
通年	書籍代				20,000	20,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	園芸用品代(野菜を収穫する)				20,000	20,000
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				111,100	244,700	355,800

※外出行事については、感染状況を踏まえ実施予定とする。中止の場合は室内での行事を検討。

# 手稲ゆうゆう通所介護事業所

利用者様が自宅での生活を継続していくため、生活機能の維持及び向上を目指していく中で、感染予防対策を講じながらも、笑顔で楽しみながら参加できる環境をつくる。

また、利用者様の在宅生活に寄り添うため、ご家族が抱える不安や悩みを聞き取るにより、ご家族の介護負担軽減を図り、利用者様とご家族がともに笑顔で過ごしていくことを支援する。

## 《重点推進課題》

### 1. 利用者様が笑顔で主体的に取り組むことができる活動の充実

#### 《中期経営計画（1）》

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策を見直して、事業所内外で行う活動や他者交流の機会を増やす。

#### 【指標・評価方法】

- ① 利用者様への活動制限及び職員の業務負担軽減を考慮するため、感染症予防対策の見直しを図る。
- ② 一定の感染予防対策のルールを定め、ボランティアの受け入れを再開する。
- ③ 利用者様の満足度を高めるため、レクリエーションや小集団プログラムの種類を増やす。また、利用者様に地域・社会参加や運動の機会を提供するため、感染予防対策を実施したうえで、外出行事を再開する。

### 2. 利用者様が自宅での生活を続けていくために、効果的な運動機会の提供

#### 《中期経営計画（1）(2)》

職員が利用者様の自宅を訪問する機会を増やすことにより、生活面での課題や、ご家族が抱えている潜在的なニーズを把握し、適切かつ効果的なプログラムを準備提供する。

#### 【指標・評価方法】

利用者様の自宅環境を職員が把握することにより、サービス提供時の運動や訓練時に、自宅環境を想定した内容のプログラムを行う。また、ご家族から生活状況を定期的に聞き取ることにより、利用者様の状態に応じた適切なケア方法を職員間で共有し、実践する。

## 年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定	開 催 日
	デイサービス会議	毎月第3水曜日 17:30～
会議	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	サービス担当者会議	随時

## 年 間 行 事 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 800 × 40 人	32,000		32,000
9月	敬老祝賀会 (3日間実施予定)	利用者食事代(3日間) 267 × 120 人 記念品代 550 × 120 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 15 人 運営費	32,040	66,000 66,000 16,500	180,540
1月	新年会 (3日間実施予定)	プレゼント代 550 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 267 × 120 人 運営費	32,040	66,000 16,500	114,540
2月	節分	運営費		3,300	3,300
通年	レクリエーション制作教材費 誕生会(プレゼント代) ボランティア謝礼	24,000 × 12 ヵ月 550 × 120 人 5,000 × 12 回		288,000 66,000 60,000	414,000
合 計			96,080	648,300	744,380

## 手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

超高齢化社会(2025年問題)が目前に迫っており、札幌市の高齢者人口も年々増え、介護を必要とする方々も増えていく。地域で介護を必要としている高齢者の方々、また、そのご家族の方々の心配や不安を軽減し、多くの方々が住み慣れた地域での生活を継続できるように支援していく。

### 《重点推進課題》

#### 1. 担当利用者数の安定と、職員個人の知識・スキルのアップ

##### 《中期経営計画 (3)(5)(7)》

より多くの利用者支援を目指し、契約終了と新規受け入れのバランスを考え、介護支援専門員一人当たりの担当件数の安定を図る。

また、様々な環境と背景をお持ちの方々に対応できるように、介護支援専門員個々の知識やスキルアップも図る。

#### 【指標・評価方法】

- ① 当事業所の受け入れ可能情報を関係機関に定期的に発信する。
- ② 当事業所をより多くの方々に認知して頂けるように、手稲区合同で行われる認知症カフェへの参加継続や、事業所や高齢者住宅へのネットワーク強化を図る。特に、手稲区以外の提供地域である西区・北区・石狩市・小樽市の新規受け入れに力を入れる。また、利用者様の細目な統計をとることで、客観的な評価を行えるようにし、新規の利用者様受け入れに繋がるよう取り組む。
- ③ 高齢者分野に限らず、障がい者・ヤングケアラー等の他分野の研修に職員一人ひとりが参加し知識を深める。そして、学んだことを他職員に伝達研修し、口頭で他者に伝えるという対人援助技術の向上にも取り組む。

# 手稲ゆうゆう訪問介護事業所 手稲ゆうゆう居宅介護事業所

訪問介護サービスの需要が増加する一方で、訪問介護員の不足を強く感じる状況にある。需要と供給のバランスを考え、利用者様の状態に応じて、必要となるサービスを安定的に提供していく。

## 《重点推進課題》

### 1. 安定したサービスの提供 《中期経営計画（1）（4）》

利用者様・ケアマネジャーとの信頼関係を築き、安定したサービスを提供することで利用者様の自立支援に向けた支援を行う。

#### 【指標・評価方法】

- ① 報告・連絡・相談の的確な指示が可能となるよう、ICT(ケアパレット、LINE ワークス等)を活用し、職員間での情報共有を円滑に行う。
- ② 介護職員の高齢化や担い手不足により、訪問介護職員の新規採用については極めて難しい状況である。そのため、現在在籍中の職員一人ひとりが長期的に就労できるよう、稼働内容を確認しながら調整する。また、訪問介護職員の不安や不満を聞き取れる環境作りやヘルパー会議の機会を持つ。
- ③ 訪問介護職員の欠員等の急な代行にも対応できるよう、サービス提供責任者の担当件数見直しを行う。

## 札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

地域での活動が少しずつ活発になってきている。感染リスクへの配慮は継続するが、地域のニーズを把握し、介護予防活動を展開していく必要がある。

稲穂金山星置地区は、10年後に手稲区内でも高齢化率の高い地域となる為、地域やご自宅で介護予防に取り組める継続した支援と、ICTの活用ができるように進めていく。

### 《重点推進課題》

#### 1. 介護予防教室の普及啓発と工夫

#### 《中期経営計画（3）》

介護予防センターが地域の皆様にとって、より身近な相談機関であるために関係性を構築するとともに、すこやか倶楽部や運動教室に新規で参加して頂けるような工夫を行う。

#### 【指標・評価方法】

- ① 既存の体操などのプログラムを継続しつつ、介護予防教室における参加者の定着と増加を目標に、他地区を参考に地元に適したプログラムを検討し実施する。
- ② すこやか倶楽部・通いの場参加者から、地域での活動の聞き取りを行い、予防事業の周知及び活動の幅を広げる。
- ③ ソーシャルメディアを取り入れている予防センターがあり、実施方法などを参考に取り入れの検討を行う。他予防センターではLINEを取り入れており、その効果など確認の後、導入を検討したい。
- ④ 夏季は昨年同様の暑さが予測されるため、都度開催方法などの検討も行う。

#### 2. 通いの場への支援

#### 《中期経営計画（3）》

介護予防活動の間口を広げ、通いの場の参加率アップ(特に男性)を目指していく。

#### 【指標・評価方法】

- ① 既存の通いの場における男性参加者は稲穂地区・星置地区で1割に満たない状況がある。男性参加を増やすべく、運動プログラムなどを男性メインに実施する。(周知の際には性差別へ該当しないよう、十分配慮を行う事とする)
- ② 昨年度実施できなかった、新しい運動プログラム(負荷強めのもの内容)の作成について理学療法士と相談し実施に繋げる。
- ③ 前年度、他地区介護予防センターの動きを参考に、当予防センターで取り組みを検討し、実施に移し地域還元を図る。実施後の反応を参加者へ確認する。



# 年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象事業所
通年	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター・手稲区社協)(月1回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(毎月第4火曜日/年12回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区福祉のまち推進センター事務局会議(月1回 第1木曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区各種団体新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

## 介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用	内 訳	金額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	8,500	8,500
			実施回数 2回		
5月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	実施回数 3回	7,500	17,500
			実施回数 3回	10,000	
			実施回数 3回		
			実施回数 2回		
6月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 熱中症対策	実施回数 3回	7,500	10,500
			実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
7月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 熱中症対策	実施回数 3回	7,000	20,000
			実施回数 3回	10,000	
			実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
8月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 熱中症対策	実施回数 3回	7,500	12,000
			実施回数 3回	4,500	
			実施回数 2回		
9月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 熱中症対策	実施回数 3回	7,500	10,500
			実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
10月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	7,500	10,500
			実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
11月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	実施回数 2回	8,500	18,500
			実施回数 3回	10,000	
			実施回数 2回		
12月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	8,500	8,500
			実施回数 2回		
1月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	8,500	8,500
			実施回数 2回		
2月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	実施回数 3回	8,500	18,500
			実施回数 3回	10,000	
			実施回数 2回		
3月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会館費代	実施回数 3回	8,500	8,500
			実施回数 2回		
	介護予防機能強化業務 (旧一般介護予防モデル事業)	会館費用	実施回数 24回	50,000	138,000
		運動用ゴムバンド代		50,000	
		材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)	実施回数 36回	38,000	
	地域福祉活動支援事業	材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等)	実施回数 32回	14,400	
		オンライン接続料金(モバイルルーター代)	実施回数 12回	38,400	
		ノートPC購入費用		100,000	152,800
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費		40,000	40,000
合 計				482,800	482,800

特 養 音 更

## 職員内部研修計画

(ロータス音更 特養・短期・通所・認知通所)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症予防及び蔓延の防止のための研修①	感染予防対策委員会
5月	メンタルヘルスについての講義	施設外講師
6月	人権擁護、虐待防止についての研修①	虐待防止委員会
7月	事故防止対策、身体拘束廃止についての研修①	各委員会委員長
8月	看取りに関する研修	看取り介護検討委員会
9月	認知症に関する研修	通所介護事業所
10月	避難訓練、自然災害、BCPに基づく緊急時対応に関する研修	施設向上研修委員会
11月	虐待防止についての研修②	虐待防止委員会
12月	事故防止対策、身体拘束廃止についての研修②	事故防止対策検討委員会
1月	感染症予防及び蔓延の防止のための研修②	感染予防対策委員会
2月	避難訓練、自然災害、救命救急についての研修	施設向上研修委員会
3月	口腔・嚥下機能について	つがやす歯科医院
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	褥瘡に関する研修	各担当職員
	介護技術に関する研修(入浴技術)	通所・認知通所職員
	感染症対策研修	医療機関主催研修
	BCPに基づく感染症対策に関する研修	感染予防委員会
	ハラスメント等のストレスに関する研修	都道府県主催研修
	ユニットケアに関する研修	各担当職員

(地域在宅支援部門 包括・居宅)

実施月	研修内容及び委員会	講師等
4月	R6年度介護報酬改定について / 音更町ケアマネジャー連絡会	管理者・副主任等 / 音更町・包括支援センター
5月	高齢者虐待防止検討委員会	
6月	認知症について / 音更町ケアマネジャー連絡会	未定 / 音更町・包括支援センター
7月	感染対策委員会	
8月	ハラスメント対策について / 音更町ケアマネジャー連絡会	未定 / 音更町・包括支援センター
10月	法令・倫理について / 音更町ケアマネジャー連絡会	未定 / 音更町・包括支援センター
11月	高齢者虐待防止検討委員会	
12月	高齢者虐待防止に関する研修 / 音更町ケアマネジャー連絡会	高齢者虐待防止検討委員 / 音更町・包括支援センター
1月	感染対策委員会	
2月	2025年度 個人目標について	管理者・副主任等
3月	BCP発動訓練	管理者・副主任等
その他	地域ケア会議(自立支援型個別ケア会議等)	
	北海道CM協会・帯広市CM連絡協議会等主催の外部研修	

介護老人福祉施設 ロータス音更  
ロータス音更通所介護事業所  
ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所  
音更町地域包括支援センター ロータス音更  
あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

# 介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者様が笑顔で穏やかな日々を過ごせるよう、施設及び職員の質を向上させるとともに、ご家族や地域の皆様、医療との連携を強化し、一人ひとりのニーズに応えるケアの提供を目指す。

## 《重点推進項目》

### 1. できる限りの感染対策の下、入居者様が望む生活を実現する。

#### 《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

施設内の感染症対策を周知徹底することで、今まで中止していた居室内での入居者様とご家族の直接面会を再開させたい。また、特定の地域の方と少人数での交流の場を持つよう努め、季節行事も小規模ながら再開していくことで、みんなを笑顔にできるよう努める。

また、施設内のサービス内容を見直すことで、入居者様、ご家族が求めているニーズに近いサービスが提供できるよう努める。そのために、職員のスキル向上のための研修や就労意欲向上のための取り組みを行っていく。

#### 【指標・評価方法】

- ① 感染症に配慮した居室内での面会を再開するために、施設内において、標準予防策や感染症別対策の研修を定期的に行うほか、医療機関が主催する感染予防の研修へ参加し、全職員の知識と技術の均一化を図る。
- ② ご家族や地域社会との一部交流を再開し、四季に合わせた行事や外部余興などを開催することで、入居者様、ご家族が笑顔で、共に過ごす時間を提供する。
- ③ 入居者様の生活歴や認知症状、身体機能、及びLIFEのフィードバックの情報を取り入れたケア内容をユニット会議やカンファレンスにおいて共有し、検討するとともに、実施、評価する。
- ④ 主任職以上によるミーティングを月に1度開催し、入居者様や各ユニット、職員、他部署の情報を共有するとともに目標の進捗状況を報告し、サービス改善のための課題等を協議する。また、その結果を、各種会議において周知し、施設全体で改善に取り組む。
- ⑤ 自らの意見や考えをケアに反映させ、行動することができる、主体的な職員を育成するため、個人目標を設定し、定期的に面談及び評価を実施する。また、他職員と日常のケアや課題、介護観などについて意見交換会を行い、自らの考えを見直し、成長する機会を提供する。

## 各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・10月 第1水曜日 16:30～
	運営ミーティング	毎月 第1木曜日 15:45～
	主任会議	毎月 第1木曜日 14:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週 火曜日 11:00～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月 第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月 第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月 第4木曜日 15:45～
	虐待防止対策検討委員会	4月・10月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4木曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4木曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4金曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

## 年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	—	春のイベント食	春を感じる特別な食事を提供する。
	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(徒歩圏内)
5月	5日(日)	開設記日	開設記念日に特別なイベントと食事を提供する。
6月	—	夏のイベント食	夏を感じる特別なイベントと食事を提供する。
7月	—	夏祭り	各ユニットにて夏祭りを実施する。
8月	—	納涼会	ユニット毎に食事をして楽しむ。
9月	8日(月)	敬老祝賀会	長寿を祝い、記念品の贈呈を行う。
10月	—	秋のイベント食	秋を感じる特別なイベントと食事を提供する。
11月	—	冬のイベント食	冬を感じる特別なイベントと食事を提供する。
12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
12月	—	もちつき	ユニットなどの単位で餅つきを行う。(感染状況に応じる)
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	—	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。(感染状況に応じる)
3月	—	ひな祭り行事	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

### 【備考】

※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施

※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施

※「変わり湯」季節を感じる事ができる入浴を行う。

※「床屋」毎月第4月曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜

※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)

# 年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80人	24,000		24,000
5月	開設記念日	5日	開設記念の特別食を提供	入居者食事代 700 × 80人 お茶菓子代 200 × 80人	56,000 16,000		72,000
6月	夏のイベント	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80人	24,000		24,000
7月	夏祭り	23日	各ユニットにて夏祭りを行う。	入居者食事代 600 × 80人 飾り付け材料代外 200,000 ゲーム景品代 5,000	48,000	200,000 5,000	265,000
	イベント食	—	土用の丑の日	入居者食事代 150 × 80人	12,000		
8月	納涼会	—	イベント食を楽しむ ソフトクリーム	入居者食事代 300 × 80人 100 × 80人	24,000 8,000		32,000
9月	敬老行事	8日	長寿を祝い、表彰を行う。	入居者食事代 700 × 80人 被表彰者記念品 3,000 × 10人 お茶菓子 300 × 80人	56,000 24,000	30,000	110,000
10月	秋のイベント	—	イベント食を楽しむ(お寿司行事)	入居者食事代 600 × 80人 お茶菓子代 200 × 80人	48,000 16,000		64,000
11月	冬のイベント	—	お楽しみ食事会	入居者食事代 300 × 80人	24,000		24,000
12月	クリスマス・忘年会	—	各ユニットにてクリスマスを楽しむ	飾り付け材料代外 1,500 × 8 <sup>ユニ</sup> <sub>ット</sub> プレゼント代 300 × 80人 鍋行事 350 × 80人 飲み物代 150 × 80人 クリスマス用献立 100 × 80人		12,000 24,000	
	クリスマス もちつき 大晦日	31日	クリスマス用献立 もちつき行事 おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 5,000 入居者食事代 350 × 80人	5,000 28,000		117,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 1,000 × 80人 飲み物代等 100 × 80人	80,000	8,000	88,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 巻き寿司、いなり 200 × 80人	16,000	5,000	21,000
3月	ひな祭り行事	3日	行事食を楽しむ(寿司行事)	生寿司 600 × 80人 お茶菓子代 300 × 80人 デザート行事 食材費 10,000	48,000 10,000	24,000	82,000
通年	誕生会 ユニット行事 入浴行事 季節のお菓子		誕生日プレゼント 各ユニットで調理レク等イベントを開催する。 変わり湯を楽しむ 季節のお菓子	プレゼント代 1,300 × 80人 材料代 4,000 × 8回 材料代 2,000 × 4回 食材費 800 × 80人 × 1年間		104,000 32,000 8,000	208,000
合 計					679,000	452,000	1,131,000

# ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者様が生きがいや楽しみを持って通い、充実して過ごしていただける通所事業所を目指す。また、ご家族や介護支援専門員と連携し、利用者様一人ひとりが抱えている課題を把握しケアに反映させ、課題の緩和・改善に努め、在宅生活が維持できるよう支援する。

## 《重点推進課題》

### 1. 利用者様一人ひとりの心身状態や身体状況、生活環境などを把握し、適切な支援を行う。 《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

利用者様が希望するサービスや課題について、ご家族や介護支援専門員と共有し、解決に向けたプログラムを提案、実施する。また、定期的に見直し、個々に適したサービスを提供する。

#### 【指標・評価方法】

- ① 利用者様が楽しみ、意欲的にサービスを継続するため、趣味活動や脳トレ・創作活動・運動など、個々に適した活動を模索し多様な活動を提供していく。また、定期的なその評価を行い、利用者様個々に合わせたプログラムを提供する。
- ② 利用者様が安心して通えるよう、ご家族と連携したサービスを提供する。そのために、連絡票を活用しご利用時の状況を報告するほか、送迎時にはご家族にこまめに声掛けを行い、情報の共有や相談しやすい環境を作り、ケアに反映することで信頼関係を築く。
- ③ 介護予防支援事業である「あすなろ」を今年度も継続して行う。そのノウハウを生かし、サロンや町内会の集まりで職員が手本となりながら介護予防運動を行い、地域の皆様の健康づくりのお手伝いができるよう努める。
- ④ 認知症についてや、身体介護技術・機能訓練・レクリエーションなどの専門的なスキルを向上させるため、内部研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術のスキルアップや認知症状についての専門性を高め、サービス内容へ反映させる。



月	会議予定(開催日)	対象職員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1~3回)	全職員

## 年間予定

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ。	食事代 300 × 30人 園芸用品代 7,500	9,000	7,500	16,500
5月	母の日週間 入浴イベント(菖蒲湯)	母の日を祝う 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	プレゼント代 300 × 70人 入浴材料代 3,000		21,000 3,000	24,000
	6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 30人 プレゼント代 300 × 15人	9,000	4,500
7月	夏祭り行事(3日間) イベント食	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施 土用の丑の日	飲食代(屋台風) 400 × 30人 製作材料・ゲーム景品代 5,000 食事代 100 × 30人	12,000 3,000	5,000	20,000
	8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	入浴材料、水分代 2,000		2,000
9月	敬老週間 敬老イベント食	長寿を祝い表彰と記念品の贈呈を行う。 イベント食を提供し楽しむ	節目対象者記念品代 1,500 × 7人 全員対象記念品代 500 × 85人 製作材料費 3,000 食事代 400 × 30人		10,500 42,500 3,000	68,000
	10月	秋のイベント食 入浴イベント(フェイスパックなど) 運動会レク	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 変わり湯と入浴後スキンケアを受け楽しむ。 運動を取り入れたレクの実施	食事代(お寿司行事) 500 × 30人 入浴材料、パック代 3,000 材料費 3,000	15,000	3,000 3,000
11月	冬のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	製作材料費 300 × 85人		25,500	25,500
12月	クリスマス忘年会(3日間) 入浴イベント(ゆず湯)	クリスマス・年末イベント 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	プレゼント代 600 × 85人 製作材料・ゲーム景品代 7,000 入浴材料代 3,000 クリスマス献立 100 × 30人		51,000 7,000 3,000	64,000
	1月	冬の昼食行事 餅つき(鏡開き)	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。 餅つきを行い季節感を味わいながら楽しむ。	食材料費 400 × 30人 食材料費 2,000	12,000	2,000
2月	節分行事 バレンタイン行事(男女)	節分にちなんだレクや、お茶菓子を楽しむ。 季節行事を楽しみながらお茶菓子を楽しむ。	お茶菓子材料費 2,000 お茶菓子材料費 2,000 巻き寿司材料費 200 × 30人	2,000 2,000	6,000	10,000
	3月	ひな祭りイベント食 ホワイトデー行事(男女) ひな祭り行事	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 季節行事を楽しみながらお茶菓子を楽しむ。 ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	食事代(お寿司行事) 500 × 30人 お茶菓子材料費 2,000 お茶菓子材料費 2,000	15,000	2,000 2,000
通年	レクリエーション製作材料費		6,000 × 12ヶ月		72,000	
	誕生会(プレゼント代)		700 × 85人		59,500	
	利用者購読用		週刊誌代(2種類) 2,500 × 12ヶ月		30,000	
	新聞代		道新スポーツ・勝毎購読料 5,962 × 12ヶ月		71,544	
	季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数80人)		800 × 85人	68,000		
	カフェ行事		飲食材料代 1,500 × 12ヶ月	18,000		319,044
合計				192,000	424,544	616,544

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1回)	全職員

## 年間予定

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12人	3,600		10,100
	農園・園芸活動	花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	園芸用品代 6,500			
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 300 × 19人	1,500	5,700	7,200
	入浴イベント(菖蒲湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 1,500			
6月	夏のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12人	3,600		5,400
	父の日週間	父の日を祝う	プレゼント代 300 × 6人			
7月	夏祭り行事(3日間)	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代(屋台風) 1日 400 × 12人	4,800	3,500	9,500
	イベント食	土用の丑の日	製作材料・ゲーム景品代 3,500 食事代 100 × 12人			
8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	入浴材料、水分代 1,500		1,500	1,500
9月	敬老週間	長寿を祝い表彰と記念品の贈呈を行う。	節目対象者記念品代 1,500 × 2人		3,000	22,300
	敬老イベント食	イベント食の提供	全員対象記念品代 500 × 25人 製作材料費 2,000 食事代 400 × 12人			
10月	秋のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 500 × 12人	6,000	1,500	9,500
	入浴イベント(フェイスパックなど)	変わり湯と入浴後スキンケアを受け楽しむ。	入浴材料パック代 1,500			
11月	運動会レク	運動を取り入れたレクの実施	材料費 2,000		2,000	3,600
	冬のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12人			
12月	クリスマス忘年会(3日間)	クリスマスや年末にちなんだイベントの開催	プレゼント代 600 × 25人	1,200	15,000	20,200
			製作材料・ゲーム景品代 4,000			
			クリスマス献立 100 × 12人			
1月	餅つき(鏡開き)	餅つきを行い季節感を味わいながら楽しむ。	食材料費 1,000	1,000		4,800
	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 12人			
2月	節分行事	豆まきやお茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,000	1,000		4,400
	バレンタイン行事(男女)	季節行事を楽しみながらお茶菓子を楽しむ。	お茶菓子材料費 1,000			
			巻き寿司材料費 200 × 12人			
3月	ひな祭りイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 500 × 12人	1,000	6,000	8,000
	ホワイトデー行事(男女)	季節行事を楽しみながらお茶菓子を楽しむ。	お茶菓子材料費 1,000			
	ひな祭り行事	ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,000			
通年	レクリエーション製作材料費		3,000 × 12ヶ月	9,600	36,000	83,100
	誕生会(プレゼント代)		700 × 25人			
	カフェ行事		800 × 12ヶ月			
	季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数25人)		800 × 25人			
合計				70,600	120,000	190,600

# 音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町C圏域の総合相談窓口として、ワンストップ機能を徹底し、必要に応じて関係機関との連携を図る。また2024年度については、地域課題にも重点を置き、地域ケア会議や実態把握調査を通じて、個々の生活課題から地域の課題にも目を向け事業を推進していく。また町内会や民生委員・老人会との関わりの中でも、各地域の課題の把握に努めて、地域の皆様が住み慣れた地域で、自分らしく生活出来る地域づくりに貢献していく。

## 《重点推進課題》

### 1. 地域包括ケア実現に向けた中核機関としての機能強化

#### 《中期経営計画（1）（2）（3）（4）》

総合相談窓口・介護予防計画作成など基本的な役割に加え、包括支援センター受託5年目の2024年度については、総合相談の拠点機能を通じて、地域の皆様の生活課題から地域課題を抽出し、地域包括ケア実現に向けた機能強化を図っていく。

また、各専門職の専門性の能力向上を図るために積極的に研修等を受講し、自己研鑽に努め、対応力の向上を図るとともに、関係機関の専門職とも協働し、地域の皆様のより良い生活の構築に寄与していく。

#### 【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
  - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
  - 2) 総合相談支援業務
  - 3) 権利擁護業務
  - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - 5) 認知症施策の推進業務
  - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
  - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 各専門職の能力を補い、資質の向上を図るため包括支援センター職員現任研修等年間2回は外部研修を受講する。また音更町や他圏域の専門職との会議などを通じて、対応力の向上に努めていく。
- ③ 町内会・老人会・民生委員等との意見交換会の開催を模索する。その中で地域の皆様の生活課題のみではなく、地域課題についても視野を広げ、具現化した課題については関係機関へ報告する。また独居高齢者世帯への独自の实態把握についても、継続実施し、効率良く実態を把握出来るように努めていく。
- ④ 2024年度末で5年間の委託契約満了に伴い、年度内にプロポーザル公募が実施予定となっている。現在までの活動の実績を振り返り、2025年度からの再受託を念頭に、プロポーザル公募に向けて準備を進めて行く。

## あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者様・ご家族が望む生活を実現するため、心身の状況や病状の理解、利用者様に影響を与えるその他の因子などを把握し、保険・医療・福祉サービス事業所とその情報を共有し、連携することで、利用者様に適したサービスが行われるようなケアマネジメント業務を行う。

### 《重点推進課題》

1. 事業所内勉強会や外部研修等を通じて、介護支援専門員の立場と役割を再確認し、利用者様一人ひとりがその人らしく地域で暮らしを継続していくためのケアマネジメントを検討し、提供する。 《中期経営計画 (1)(2)(4)》

### 【指標・評価方法】

- ① 独居高齢者やターミナル期の利用者様など、地域で生活を継続するにあたり、困難な状況が想定される事例について、適切なアセスメントのもと、事業所・関係機関等と連携し、ケアマネジメントを実践する。
- ② 日常的に介護等を行っている児童や、障害者、生活困窮者、難病患者等、高齢者以外の対象者への支援に関する知識等の事例検討、研修等に参加し、多様化・複雑化している課題に対応する能力向上を目指す。
- ③ BCP の周知と年1回以上、BCP発動を想定したシミュレーション・研修会を実施する。災害等発生時に地域において早期に安全な暮らしが送ることができるよう、利用者様・ご家族・行政とともに対策を検討していく。

老 健 音 更

## 職員内部研修計画

(あんじゅ音更)

実施月	研修内容	講師等
4月	高齢者虐待防止について	虐待防止委員会
5月	接遇について	接遇向上委員会
6月	感染予防について	感染予防委員会
7月	事故防止について	医療事故防止委員会
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	口腔ケアについて	口腔ケア委員会
10月	感染予防について	感染予防委員会
11月	高齢者虐待防止について	虐待防止委員会
12月	防災について	防災委員会
1月	事故防止について	医療事故防止委員会
1月	褥瘡予防について	褥瘡委員会
2月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
3月	口腔ケアについて	口腔ケア委員会
その他	ハラスメント防止について	施設内外の講師

介 護 老 人 保 健 施 設    あ ん じ ゅ 音 更

あ ん じ ゅ 音 更 ( 介 護 予 防 ) 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所

あ ん じ ゅ 音 更 ( 介 護 予 防 ) 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所

# 介護老人保健施設 あんじゅ音更

利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

## 《重点推進課題》

### 1. 老健施設の役割を踏まえた活動内容の見直し 《中期経営計画(1)》

入所者様のできる事が1つでも増えるよう各階の活動内容の見直しやケアカンファレンスでの各職種の見解を通じ、生活の中にリハビリを組みながら機能の維持・向上を図る。

#### 【指標・評価方法】

- ① 業務改善会議の中で、業務のスリム化を図ると共に日中の活動プログラムを見直す。
- ② ケアカンファレンスでは「できている事に対し、可能な限り続けられるための視点」「できそうなことに対し、できるようになるための視点」「できない事に対し、できそうなことやできる事につなげられる視点」を踏まえて評価を行い支援内容の検討を行う。
- ③ 日常生活で実施できるリハビリや自主訓練を各職種で検討し実施する。

### 2. 安定した入所率の確保 《中期経営計画(5)》

事前に入所判定会議を済ませ空所が出た際にすぐに入所対応を行い、入所率の安定化を目指す。

#### 【指標・評価方法】

- ① 今年度は94%を目標に施設全体で共有する。
- ② 空所情報案内の活用と定期的に医療機関・居宅介護事業所へ申込み者数の状況をお知らせする。
- ③ 申し込みの時点で「即入所希望者」「待機者」の2グループに分けて管理し、優先順位をつけて素早く面談を実施。退所後の空床期間を短縮できるように、事前に入所判定会議を行う。



## 各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2木曜日 15:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	随時
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第3月曜日 3F:毎月第2金曜日
	リハビリ会議	月1回不定期
	施設内研修	毎月1回不定期
委員会	医療事故防止委員会	委員会 : 毎月第2水曜日
	身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会	委員会 : 毎月第3木曜日
	感染対策委員会	委員会 : 毎月第1水曜日
	褥瘡対策委員会/ターミナルケア委員会	毎月第4月曜日
	防災・研修・接遇委員会	毎月第4火曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	業務刷新・新人教育委員会	毎月1回不定期
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日
	衛生委員会	毎月第1月曜日

## 年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		開設記念日	開設20周年
6月		季節の行事	季節に合わせた行事を企画
7月		夏レク	各フロアにて夏らしい行事を企画し楽しんでいただく
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月		敬老の日	入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	季節の行事	季節にちなんだ調理レクを行い楽しむ
2月		節分	千支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		季節の行事	入所者と一緒に調理レクを楽しむ

※「誕生日会」各入所者の誕生日月に実施  
 ※「変わり湯」適宜実施  
 ※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施  
 ※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

# 年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	寿司行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。	入所者食事代 600 × 100 人	60,000		60,000
5月	開設20周年		開設記念日に合わせ食事会	入所者食事代 800 × 100	80,000		80,000
6月	季節の行事		季節に合わせた行事を行う	6,000	0	6,000	6,000
7月	夏レク		夏らしい行事の実施。	入所者食事代 500 × 100 人 ジュース代 200 × 100 人 各階飾りつけ代 × 人	50,000 20,000 10,000		80,000
8月	夏レク		夏らしいレクリエーションの実施。	装飾等備品代 20,000		20,000	20,000
9月	敬老の日		入所者の長寿を祝う。	入所者食事代 800 × 100 人 入所者お茶菓子飲み物 250 × 100 人 高齢者記念品代 1,000 × 15 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000	80,000 25,000 15,000 20,000		140,000
10月	寿司行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。	入所者食事代 600 × 100 人	60,000		60,000
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 入所者食事代 200 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000 20,000 20,000 30,000	20,000 30,000	120,000
1月	正月 季節の行事	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 季節にちなんだ調理レク	おせち料理 1,600 × 100 人 6,000	160,000 6,000		166,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	10,000 25,000	10,000	35,000
3月	季節の行事	日	季節にちなんだ調理レク	6,000	6,000		6,000
通年	誕生会 変わり湯 喫茶 レク用品 園芸用品 食事予備費 予備費	毎月 適宜 日曜	入所者の誕生月に合わせお祝いする。 入浴剤を使用し、入浴を楽しんで頂く フロアにおける活動費 花壇等の環境整備	ケーキ代 500 × 100 人 12,000 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12 ヶ月 園芸用品代 50,000 25,000 100,000		50,000 12,000 240,000 50,000 25,000 0	477,000
合 計					652,000	598,000	1,250,000

# あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、心身機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、リハビリテーションの適正評価を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

又、業務刷新への取り組みを継続することで、さらなる業務改善を図り、新たに確保した時間を利用者様へ還元することを目指す。

## 《重点推進課題》

### 1. リハビリ評価尺度の運用促進

#### 《中期経営計画(1)》

現在、リハビリ職員とマンツーマンで行う「個別リハビリ」、介護職員が付き添い指導する「リハ補助」、決められたメニューを利用者様自身でこなして頂く「自主訓練」と段階的にリハビリを提供している。新たに作成したリハビリ評価尺度を運用することで、定期的且つ多角的にリハビリ内容を評価し、利用者様の身体機能や生活ニーズに合わせた適切なリハビリが提供できる体制を構築する。

#### 【指標・評価方法】

- ① 新たに作成した評価尺度を用いて、3か月に1回、現状のリハビリ提供の整合性を評価するためのミニカンファレンスを開催し、評価内容を記録に残す。
- ② 「リハ補助」に登録されている利用者様の人数が偏っているため、利用者様への適切な移行評価の説明を行いつつ、「自主訓練」へ移行する人数をさらに増加し、自主的なリハビリテーション実施へと繋げていく。

### 2. 業務刷新に向けた取り組み

#### 《中期経営計画(7)》

記録の電子化を主軸とした業務改善に取り組んできたが、まだまだ見直す点や利用者様へ還元できる点など考慮の余地がある。介護、リハビリ、相談の各部門が一体となって業務刷新に取り組む事で、地域の皆様に選んで頂けるような通所サービスへとさらに進化する。

#### 【指標・評価方法】

- ① 記録の充実化を図る観点から、定期的に勉強会を開催し、職員ひとり一人の記録能の向上に向けたアプローチを行う。
- ② 「個別運動メニュー」がマンネリ化しないよう、半年に1度、新たな運動メニューの発案及び改善検討を行う。
- ③ 新型コロナウイルス感染症が蔓延して以降、外出行事が実施できていなかったため、行事再開を目指す。但し、「飲食」を目的とした行事の実施では無く、買い物を通じてIADL能力の評価を目的とした外出行事を企画し、実践していく。

## 年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイケア会議(不定期開催)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	医療事故防止委員会(第2水曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員	身体拘束廃止/虐待防止委員会(第3木曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	防災/研修/接遇委員会(第4火曜日)	担当職員
	幹部会議(第2木曜日)	通所副主任	業務刷新/新人教育委員会(随時)	担当職員

## 年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月					0	0
5月	園芸活動	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど)	肥料 4,000 × 1 苗 4,000		4,000 4,000	28,000
	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000		28,000
6月						0
7月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000		20,000
8月					0	0
9月	敬老週間	敬老を祝う	各種表彰 1,500 × 16人 (2023.2.2現在) 喜寿(昭和22年) 0人 米寿(昭和11年) 10人 白寿(大正14年) 2人 高齢者(大正13年以前) 4人 飾り付け代 敬老昼食代		24,000 10,000	74,000
	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000 20,000		74,000
10月	外出行事(道の駅)	屋外移動能力及び買い物能力の評価				0
11月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会		ケーキ代 200 × 180人 プレゼント 500 × 100人 飾り付け 20,000	36,000	50,000 20,000	116,000
	変わり湯(1日間限定)	雰囲気の違いお風呂を提供する(ゆず湯)	10,000		10,000	116,000
1月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000		20,000
2月						0
3月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リを提供		20,000		20,000
通年	物品購入費及びレクリエーション制作材料費		10,000 × 12ヶ月 誕生日プレゼント代 1,000 × 100人		120,000 100,000 12,000 7,500 5,478 13,930	258,908
予備	予備費				6,000	6,000
			合 計	176,000	386,908	562,908

## あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上のための個別リハビリを行う事に加えて、自主訓練や生活の中で出来る活動の提案及び定着を図っていくことで、住み慣れた家と地域で、利用者様、ご家族が笑顔で在宅生活を続ける事ができるよう支援する。

### 《重点推進課題》

#### 1. 継続した在宅生活への支援

#### 《中期経営計画(1)(2)》

利用者様の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。個別訓練に偏った関わりから脱却するため、訪問リハビリ以外の時間をどう過ごして頂くかマネジメントすることにも重点を置き、個々に合わせた自主訓練メニューを行って頂く事や、他サービスを利用している方についてはその事業所とも連携を取り運動機会を増やすことで効果的に心身機能の維持向上に繋がるよう支援する。

#### 【指標・評価方法】

- ① 医師の診察・指示のもと、利用者様個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ② 自主訓練メニューの提供とそのメニューを継続して行って頂けるように支援することや、他サービスも併せて利用している方についてはその事業所との連携を図り、訪問リハビリテーション以外の時間にも訓練を行う時間を持っていただくことで効果的に心身の維持向上を図っていく。
- ③ 3カ月ごとにリハビリテーション会議を開催し、利用者様とご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ④ 年1回、利用者様・ご家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。